

いわき市立川部中学校

教科名等：道徳

単元(題材)名：男女の協力

学年：第3学年

実施状況

「無人島に生きる」という資料で、男女の協力についての授業を行った。無人島に漂着した男女それぞれ3名の計6名が約半年間どのように生き延びたかをグループごとに考えさせ、各グループの意見から、男女の理解、協力することの大切さについて理解を深めさせた。実体験することができないような内容であったが、生徒たちは、イメージをふくらませながら楽しく考え、学習することができた。また、振り返りの段階では、夫婦茶碗の写真を提示し、「どちらを選ぶか」の問い合わせから、ジェンダーについても考えさせた。

児童・生徒の感想

- 改めて男女ともに協力することの大切さがわかりました。
- 男はこうとか女はこうとか関係なく、平等に協力し合って生活することが大切である。
- 一人一人の可能性で、男女問わず行動して社会をつくっていくこともできると思った。
- 男女の違いはたくさんあって、でもそれにかかわらず協力することが大切だと思った。
- まだまだ男女で不平等なところがあるけど、その穴を協力して埋めていけばよいと思う。

参観者の感想

- 授業での話し合い活動の中で、無人島で生き延びるためには、男女の協力が欠かせないものだということを感じとっていたようである。
- 職業に関する写真を見る場面では、性差による固定観念にとらわれず、一人一人の個性に応じて、自分の良さを生かして社会の中で役割を果たしていこうとする意欲が感じられた。

指導者の感想

今まで男女の仲が良く、助け合い、協力して生活できる学級であったが、今まで以上に男女がお互いにそれぞれを尊重し、協力し合うような場面が見られるようになった。また、学校生活だけではなく、家庭生活においても、両親や兄弟などのそれぞれの役割について考えさせるよい機会になった。学級活動などの時間を使い、さらに男女共同参画社会について理解を深めさせてていきたいと思う。